

2023年度 大阪女学院法人事務局 事業計画

I. 法人事務局の取組

1. 学校法人のガバナンス体制の強化に基づく運営体制の整備

監事の機能強化と監査体制の整備

- (1) 監事監査規程に基づき、監事監査の年間計画を策定し、業務監査及び会計監査を着実に執行できるよう、事務局のサポート体制を整備する。
- (2) 教学監査については、監事が学院行事や普段の学院の様子、施設設備状況等について監査する機会を、年間を通じて設定する。
- (3) 学院内の協議事項の議事進行を見ていただくため、監事には年に3回程度、学院運営会議(学内理事会)へ陪席していただく機会を設定する。

2. 運営課題への取組

- (1) 学院の将来を見据えて、次世代の運営管理体制(管理職体制)の構築に向けての検討を進め、あわせてクリスチャン条項に関する検討に取り組む。
- (2) 学院の喫緊の課題である「事務職員の養成計画」「施設整備計画、資産活用計画及び財政運営計画」「短期大学・大学の学科等の将来構想、中学校・高等学校の将来構想」について、各プロジェクトチームで検討したプランを学院運営会議(学内理事会)で協議の上、具体化し実行に移す。
- (3) 規程全般について、時代や環境の変化に対応しているかどうか等も含めて検証を行い、諸規程の整備を行う。

3. 財政課題に関する取組

第Ⅲ期中期計画の財政基本方針に基づき、施設設備の補修等を推進する。また、将来の学院運営に必要な安定した学院財政の仕組みを構築する。そのために、収入に見合う(生徒・学生数の増減に対応する)支出管理の考え方を更に推し進め、学院及び各部門の財務シミュレーションを策定するとともに、人件費の見直しに向けた具体的な取り組みを進める。

4. 学院事務体制の再編に向けた取組

必要に応じて事務職員の配置を変更し、効率的な業務組織編制を行い、部門間の業務の集約が図れるようにする。法人事務局が中心になり、各部門との重複業務の精査を行った上で、経理、人事・給与、納付金、IT 関係、広報等の業務組織の再編を開始する。また学院事務体制の将来計画を策定する。

5. 法人業務の取組

(1) 時間管理システムのクラウド化

各部門で教職員の出勤状況がリアルタイムで確認できるようにシステムをクラウド化する。その上

で、健全な労務管理を目指し、教職員の時間外労働の短縮と労働環境の整備を進める。

(2) 給与明細の電子化

給与明細書について、従来の紙ベースによる配布から、電子化により各自がパソコンやスマホから閲覧し出力できるようにする。事務部門の効率化とペーパーレス化によるコスト削減、環境への配慮に向けた取り組みを推進する。

(3) 寄付金の増収と寄付者とのつながりを構築する試み

学院への寄付について、寄付者が個々の状況に応じて寄付の形態を選択できるように、Web やクレジットカード等を活用した選択肢を設ける。寄付金の増収を図ることに加えて、学院へ愛着をもって関わり続けていただける関係構築を目指す。

(4) 電子帳簿保存法改正に伴い、電子取引データの事務処理規程を施行する。

(5) 学納金関係等の郵便物をメール配信に変えるなど、ペーパーレス化、省力化を推し進める。また、業務マニュアルを整備し、属人的業務からの脱却に努める。

6. 第Ⅲ期中期計画の推進

VISION OJ140をベースに策定した第Ⅲ期中期計画(2020～2024 年度)の進捗状況を点検し着実に推進する。また、創立150周年を迎える10年後の2034年度を見据えて「VISION OJ 150」の策定の検討を開始する。

II. 教育研究センターの取り組み

1. 方針

2023 年度も引き続き、変化する教育環境を見据えつつ、多様な情報を収集するとともに、蓄積した歴史資料を活かして、学院の将来あるべき方向を総合的に探る研究・提言活動を通して、学院各校部の連携を積極的にサポートする。将来は“総合研究所”(R&D)の構築をめざす。

2. 計画

(1) 教育研究セミナーの開催

年間テーマ:「これからの大阪女学院を考える」

開催日:年 6 回程度(祈り会・フィールドワーク含める)

(2) ニュースレターの発行(年 2 回予定)

(3) その他、冊子配布推進

①「大阪女学院のキリスト教教育」 ②「ウキルミナ物語(125 周年記念誌)」

③「東雲の丘の学校」 ④「米軍占領下の沖縄の教会」

- (4) 史料室の管理・運営
 - ① 諸史料の収集・整理・保管(刊行物、報告書、記録、図版類、写真、アルバム、関係書籍、画像、新聞掲載紙、個人文書など)
 - ② 資料のデジタル化
- (5) 史料の公開
 - ① 個々の要望に応じた資料の照会
 - ② 図書館企画展示(年2回 研究員による展示)
- (6) 調査・研究
 - ① 企画展示にあわせた調査研究
 - ② 特定時期(あるいは出来事)に焦点を当てた調査・研究
 - ③ 冊子発行に向けた準備のための調査・研究
- (7) ネットワーキング
 - 地域社会および関係機関・団体との協働、文化的な貢献
 - ① 同窓会 ② 全国大学史資料協議会 ③ 川口居留地研究会との連携
 - ④ 大阪キリスト教連合会 ⑤ キリスト教学校教育同盟
- (8) 学院全体の広報への協力
 - 『ハイライト』(法人事務局)の編集協力
- (9) 学院全体の教育活動の推進
 - ① キリスト教教育、平和・人権教育、英語教育、女子教育分野においてネットワーキングを利用した諸団体・会合への参加、推進
 - ② キリスト教教育連絡会への連携・協力
 - ③ 学院全体の行事・研修及び学校行事(文化祭等)・研修へ向けたサポート
 - ④ ランチタイムコンサート開催とその前後の礼拝における協力
 - ⑤ ウェルミナジュニアカップへの継続、協力
- (10) 新規取り組みの推進
 - ① オープン展示室の準備・設立・開設
 - ② 150周年記念誌編纂委員会の規程作りと開催
 - ③ ボランティアセンター設立へ向けての準備

以上